

研究課題 入院を要する肺炎患者における初期抗菌薬治療と予後に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

- ① 2010年3月15日～2010年12月22日に名古屋大学医学部附属病院；JA愛知厚生連豊田厚生病院；トヨタ記念病院；大垣市民病院；公立陶生病院；国立病院機構名古屋医療センター；名古屋掖済会病院；名古屋第一赤十字病院；名古屋第二赤十字病院；豊橋市民病院に肺炎のため入院された方
- ② 2013年4月1日～2014年3月31日に名古屋大学医学部附属病院；トヨタ記念病院；公立陶生病院；名古屋第二赤十字病院に肺炎のため入院された方

2. 研究目的・方法・研究期間

肺炎は日本における死因の上位を占める重要な疾患です。今日までに肺炎で入院した際の抗菌薬選択につき、様々な議論がされてきました。最近では、耐性菌を予測する方法が報告されており、リスク因子を計算することで耐性菌の割合を予測し、抗菌薬を選択することが推奨されておりますが、それが最適な治療法なのかはわかっていません。そこで今回、肺炎で入院した患者さんに、初期抗菌薬選択が予後に与える影響を検証し、適切な初期抗菌薬治療を明らかにすることを目的とした研究を行うこととしました。

研究方法は観察研究で、通常の診療で得られた情報を、すでに実施した観察研究（名古屋大学医学部生命倫理審査委員会 承認番号：859 及び承認番号：2012-0338）で収集した情報に追加して収集し、研究を行います。入院を要する肺炎の患者さんにおいて、耐性菌リスクに準じた初期抗菌薬治療が良好な患者転帰と関連するかどうかを明らかにするために、電子カルテから下記の3. に示す情報を抽出し、研究に利用します。

研究期間は実施承認日より2024年3月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、既往歴、合併症、血液検査結果、微生物培養検査結果、使用された抗菌薬、治療成功の有無、予後（生存か死亡か）など

4. 外部への情報の提供

上記3. に示す情報を電子カルテから抽出し、患者IDや氏名等の個人情報削除し代わりに研究用識別番号を付与して匿名化したデータを研究事務局（名古屋大学医学部呼吸器内科）に提供します。

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院	進藤 有一郎
JA 愛知厚生連豊田厚生病院	谷川 吉政
トヨタ記念病院	杉野 安輝
大垣市民病院	進藤 丈
公立陶生病院	近藤 康博
国立病院機構名古屋医療センター	坂 英雄
名古屋掖済会病院	島 浩一郎
名古屋第一赤十字病院	野村 史郎
名古屋第二赤十字病院	小笠原 智彦
豊橋市民病院	大館 満

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究代表者】名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 助教 進藤 有一郎

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 助教 進藤 有一郎

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL：052-744-2167 FAX：052-744-2176

E-mail：yshindo@med.nagoya-u.ac.jp

【豊橋市民病院における体制】

院内研究責任者：豊橋市民病院 呼吸器内科 副部長 大館 満

院内共同研究者：豊橋市民病院 呼吸器内科 スタッフ一同

院内個人情報管理者：豊橋市民病院 呼吸器内科 大館 満

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

豊橋市民病院 呼吸器内科 副部長 大館 満

〒441-8570 豊橋市青竹町字八間西 50 番地

TEL：0532-33-6111（代表）